

(51) Int. Cl.

H01J 61/30

識別記号

FI

H01J 61/30

F-70-1 (参考)

G02F 1/13357

H01J 31/067

61/067

T
L
N
N
L

審査請求 未請求 請求項の数は 〇 L (全 5 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号

特願平11-210232

(62) 分割の表示

特願平11-173175の分割

(22) 出願日

平成7年7月10日 (1995.7.10)

(71) 出願人

000005168

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72) 発明者

品田 眞一

東京都青森市藤橋385番地 株式会社日立

製作所熱帯ライティング事業部内

(72) 発明者

生田 時

東京都青森市藤橋385番地 株式会社日立

製作所熱帯ライティング事業部内

(72) 発明者

御子安 茂牛

東京都杉並区和泉2-49-17

(73) 代理人

100000066

弁護士 作田 康夫

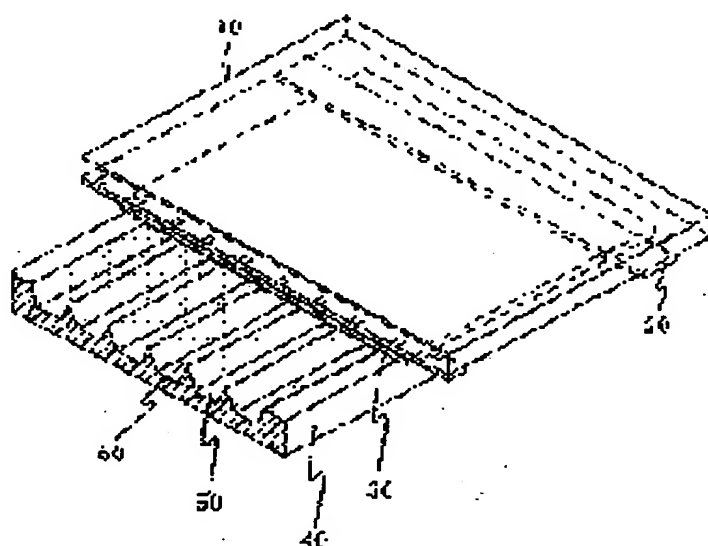
(54) 【発明の名称】 平板型光源

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 透過型液晶パネル等、バックライトが必要な表示素子を使用する、例えばテレビ、ゲーム機等の情報処理機器やワープロ等のコンピュータ機器、若しくは光起を内蔵した表示システム等において、簡単な構造で高輝度、高効率、長寿命の平板型光源を提供する。

【解決手段】 発光面となる透光性を有する面板10と、該面板の内面に形成された複数の透明導電膜20からなる電極と、該透明導電膜が外部電極部とされる部分以外を覆って設けられた透光性を有する誘電体層30と、前記面板と対向して配置され、前記透明導電膜電極と交差する方向で、放電空間を区画して設けられた複数の放電路40と、該放電路の内壁面に被着された蛍光体とを有する誘電基層50からなり、前記面板と前記誘電基層とを一体に封着し、内部に希ガス又は希ガスと水銀を封入する。

図 1



10…透光性面板 20…透明導電膜 30…誘電性層
40…放電路 50…誘電基層 60…蛍光体